

## 令和6年度丹後視覚障害者社会教育指導者研修会



令和6年11月12日（火）に、視覚に障害のある人もない人も心豊かに暮らせる共生社会の実現に向けて、様々な立場の方々がともに学び合うことを目的として、令和6年度丹後視覚障害者社会教育指導者研修会を開催しました。

今年度は、箏曲家であり、公益社団法人 京都府視覚障害者協会の会長も務めておられる岡田 多栄子 様に箏演奏と講演をお世話になりました。

また参加いただいた視覚障害者及びボランティア関係者、社会教育関係者、教員、企業関係者等、49名の皆様には、講演後、「出会い・学び・つながり」というテーマでグループ交流をしていただきました。

講演や意見交流を通して、参加者同士が出会い、お互いの思いや考えを受け止め合う中で学びを深め合うことができました。

参加者には、この研修会を通して学んだことを、障害のある人もない人も誰もが安心していきいきと暮らしやすい社会づくりにつないでいただくことを期待しています。



### 《参加者の感想》

- ・講師のお母さんや家族の愛情と、いろいろな方との出会い、御自身の努力によって素敵な生き方をしておられるなと思いました。
- ・講演の合間にある箏の音が心地よかったです。「自分から動くこと」は、躊躇せず、行動を起こすこと。時代とともに変化していくことをどう捉えていくか、問いをいただいた時間でした。
- ・「自分の道を信じている」とおっしゃいました。とても良い言葉だと思います。
- ・少人数で話し合うこと（もちろん初対面の方ばかり）ができ、これこそ出会いであり、お話の中から学ぶことが多く、これがつながりだと思いました。

